

【スタッフ】

脚本／白柳力(こちらスーパードラッグ帝国)

演出／中本吉成

音楽／西出真理

振付／大澤えりな

歌唱指導／山岸麻美子

美術／渡邊景子

照明／明治座舞台株式会社

音響／野中和仁(株式会社WAVE)

衣装／高橋梨花・宮地奈々子

衣装製作 五大輝一・藤澤知佳

ヘアメイク／K O B A (株式会社PUNCH) ・R I N A (株式会社PUNCH)

美粧協力／I N N I S F R E E ・江原道株式会社

舞台監督／齊藤樹一郎

演出助手／高橋 咲

大道具／明治座舞台株式会社

宣伝美術／大沢寿恵 (c i t r o l e m o n) ・神屋敷徹 (c i t r o l e m o n)

宣伝写真／加藤 翔

パンフレット製作／梅田 守 (R o o t z 株式会社)

グッズ製作／酒井美里

映像配信／彩高堂

制作・票券／遠藤 唯 (V i S t a r)

票券／野田紅貴 (カンフェティ)

プロデューサー／牧野健太・岩田笙汰

企画・製作・主催／株式会社ワンダーヴィレッジ

登場人物

東条一輝（とうじょうかずき）

本田康祐（OWN）／百名ヒロキ

ホテルのベルボーイ。オーナーである彩子の一人息子。

夢も無くフラフラしていたが、彩子によって嫌々働かされることに。

生まれてすぐに父親は亡くし全く記憶がない。

阿久津翔平（あくつしょうへい）

白間太陽／白金倫太郎（7m!n）

一輝の先輩ベルボーイ。年下だが一輝にはタメ口でフランクに接する。明るくて元気が取り柄の世渡り上手でポジティブ。

二葉あたる（ふたばあたる）

川田広樹（カレッジセール）

ホテルのマナージャー。現場を実質的に回しているが、

ベルボーイ達の世話係もしなくちゃで、基本的にアタフタしている。

大熊妙子（おおくまたえこ）

安田カナ

ホテルのベテラン清掃員。お局的な存在。

キラ（座敷童子）

倉本琉平

ホテルに住み着く座敷童子的なやつ。どうやら一輝にしか見えないようだ。実は一輝とは深いつながりが。

乾友美(いぬいゆみ)

三田麻央／石川凪子

ホテルのベルガール。元々シンガーを目指していたが、シヨールレストランで出演していたが、夢を諦めてホテルで働くことに。

谷山望(たにやまのぞむ)

伊勢崎寛太／大友至恩

後輩ベルボーイ。一輝と翔平と仲が良いが若干いじられキャラの可愛い後輩。

東条彩子(とうじょうあやこ)

栗山絵美

一輝の母親であり、ホテルのオーナー。

数々のホテルやレストランなどのオーナーを務めるやり手のマダム。どんな時もどっしり構えた大らかな性格。一輝を生んですぐに夫と死別。

虫島昆之助(むしじまこんのすけ)

温水洋一

ホテルの支配人。

現場はマネージャー達に丸投げしているので仕事をしているのかは不明。五年に一度のシヨールのことをすっかり忘れている。

●アンサンブル・・・お客さん役、シヨールのダンサーなど。兼任。

小林祐貴

山崎和香

富山真有

久保田優香

A Brilliant Christmas

【 第1場 ドタバタなホテル 】

『ホテル・ロイヤルギフト』。老舗のシティホテル。

豪華なロビー、ラウンジ、一階と二階をつなぐ大きな階段がある。

ベルボーイの東条一輝は休憩中である。(二階部分にいる)

電話をしている。相手はホテルオーナーであり母親である東条彩子。

一輝にピンスポットが当たる。

一輝

(電話) だから、そういうことだよ。

…なんでって…。もう、嫌なんだって、やりたくないだって。

…そこは、まだ考えてないけど…。

「一輝ー！こっち手伝ってー！」という声。

先輩ベルボーイの阿久津翔平の声だ。

「いま休憩中ー！」と返す一輝。

一輝

(電話) ていうかさ、人足りてないんだから、

たまには手伝いに来てよ、オーナーだろ？

…はっ？いま向かってる！？いや来るなよ！

…いや、矛盾してねーよ。

来ては欲しい！けど急には来てほしくない！そういうこと！

とにかくやめるからー！このホテル！俺やめるからー！

一輝、電話を切る。溜め息をつく。

一輝
……。

一輝、客席に向かってモノログのように話しながら階段を下りていく。

一輝
オーナーです。今の電話。このホテルのオーナー。

というか…、母です、俺の。

このホテルは、母がオーナーをやってるんです。

俺は、(自分の服装) 見ての通り、ベルボーイをやってる。

というか…、やらされてる”。

『定職にもつかず毎日フラフラ遊んでるんだったらここで働きなさいっ!』
そう言われて。

…まあ、たしかに、言い分は分かるよ?

かわいいかわいい一人息子が、フラフラしてたらそりゃあ…、

…言いましたよ?自分のこと「かわいいかわいい」って。

でもさあ、よくない?別に。俺、まだ若いんだから。

やりたいこと見つかるまではさ、フラフラしたってよくない?

今は、色々な生き方あるわけじゃん?多様性?うん、多様性。

別に誰かに迷惑かけてるわけじゃないし!

フラフラしても、よくないっ?

(客席に聞いてみる) そのあなた、俺の言ってることわかりますっ?

一輝、客席と少しコミュニケーション。
お客さんが頷いたら、「わかっただらっしゃる」「良い理解者です」など。
首をかしげたりしたら「首をかしげちゃった」など。
よきことだ。

一輝

ということですね！俺は、このホテルをやめようと思っています！
そして、フラフラしようと思っています！
レッツフラフラ……ディスプレイ多様性……！
だって、大変なんですよ、このホテル。
毎日、ドタバタアタフタ……。

以下、ホテルの従業員達がドタバタする様子。
(様々な場所で同時多発的にドタバタするので、
ピンスポでクイックに切り替えて見せていく)

休憩中の一輝はそれを傍観している描写。

支配人の虫島昆之助、スマホを見てニタニタしている。

虫島

にひひひ……！

そこへ、マネージャーの二葉あたるが駆け込んで来て。

あたる 支配人、ちょっとお客様同士でトラブルがありました。

虫島 (スマホを見ながら) お、がんばれーい。

あたる いや、あの、対応お願いしたくて。

虫島 (スマホを見ながら) マネージャーの腕の見せどころだな、やったなっ。

はははは。

あたる ……また猫の動画見てるんですか？。

虫島 ……マンチカンっ。

ベルガールの乾友美が駆け込んできて。

友美 マネージャー、505号室のお客さんが、カードキーを紛失したようで…。

あたる それくらい対応でき…あーもう！新しいキーを用意して！

友美 その新しいキーも無くしたみたいで！

あたる ええええ！？

虫島 (マンチカンの) 足短くてかわいいー、いひひひ。

ベテラン清掃員の大熊妙子が鼻歌(渋めの昭和歌謡)を歌いながら、
清掃道具を持って歩いている。

妙子

♪♪

そこへ翔平がやってきて。

翔平 妙子さん、309号室の清掃ってやりました？

妙子 やったわよ。

翔平 チェックインしたお客さんからベッドに髪の毛が残ってたってクレームが。

妙子 ふん、自分の髪の毛でしょ。

翔平 あ、いや、でも。

妙子 何年この仕事やってると思ってんのさ??

この私が、髪の毛の一本、チリの1つも残すわけないでしょ!?

翔平 ですよねですよね、でも、クレームが。

妙子 309号室ね。(肩を回して)行ってくるわ。(部屋へ向かおうとする)

翔平 (引きとめて)やめてくださいやめてください!!

妙子 全面戦争じゃい!!

翔平 俺が謝っておいたんでもう大丈夫ですから!

妙子 なに勝手に謝ってんのよ!!

翔平 だ、だって!謝るしかないじゃないですかあ!

妙子 謝ったら負けじゃん!!

そこへ、あたると友美がやってきて。

友美　こんなに鍵を無くしやすいホテルは初めてだ！ってお客様怒っちゃって。
あたる　むちゃくちゃすぎるクレームだあー…。

あたる、翔平を見つけて。

あたる　あ、翔平くん、悪いんだけど、いまずぐ宴会場行ってくんないかな？

酔っぱらったお客様同士が喧嘩してるみたいで。

翔平　喧嘩？わかりましたあ！

妙子　（肩を回して）私も行こうか？

翔平　来ないでください！

ホテルにやってきた客、スーツケースを持っている。

そこにかけてやる、新人ベルボーイの谷山望。

望　いらっしゃいませ。お荷物をお持ちいたします。

望、スーツケースを持ち上げようとすると、重すぎて持ち上がらない様子。

望　（苦笑）ははは、ふんぬ…！（持ち上がらない。ものすごい形相だ）

翔平、駆け足で宴会室へ向かう。

望、翔平を呼び止めて。

望 先輩ーあの、に、荷物、持ち上がらなくて…！

翔平 いまそれどころじゃないんだ。

望 お願いますっ…！(泣)

翔平 …もー！

翔平、スーツケースを持ち上げようとするが、持ち上がらない。

翔平 あれ???ふんぬ…！(持ち上がらない)あれ???ふんぬ…!!

翔平、ものすごい形相で持ち上げようとするが持ち上がらない。

ものすごい形相だ。(もはや顔芸のようだ)

虫島、相変わらずスマホを見てニタニタ。

そこへ、ホテルのオーナーの東条彩子がやってくる。

虫島 (スマホを見ながら) いひひひ…！

彩子 楽しそうじゃない。(ママム風に)

虫島 (スマホを見ながら) もうたまんねえよお(笑)。

(彩子に気づいて)にゃ…!!オーナー…!!

彩子 ハアーイ、元気？

虫島 そ、そりゃ、元気ですよー、ホテルマンは元気じゃないと、ははは。

えっとー、ど、どうしたんですか？今日は。

彩子 ちよっと様子見に来ただけよ。どう？バッチリ？

虫島 もうバッチリですよー、このホテルは私に任せてください！

毎日毎日、身を粉にして働いてますからーにゃははは！

彩子 違うわよー。バッチリ準備はできてるのって聞いているのよ。

虫島 ん、はい？準備？とは？？

彩子 だってほら、近づいてきてるからさー。

虫島 近づいて？？ん？？はい？？にゃ？？

翔平・望、二人でもすごい形相でスーツケースを持ち上げようとする。

翔平・望 ふんぬうう……！……！……！（持ち上がらない）

そいへ、妙子がやっつけてあげよう。

妙子 （二人を見て）ご乱心？？

望 いや、あの、持ち上がらなくて。

妙子 情けないわね。

妙子、翔平と望をどかして、スーツケースを持ち上げる。
ひょいっと、いとも簡単に持ち上げる。

翔平・望 ええええーっ？

妙子 (望に) この方、部屋は何階？

望 8階です。

妙子 階段で行くわ。

翔平 階段ーっ？

妙子、客、去る。

あたる・友美、駆け足でやってきて。

あたる (翔平を見つけ) 翔平くん！なにしてるの！宴会場行って！喧嘩！

翔平 はい！

翔平・望、慌てて宴会場へ。

友美、時計を見て何かを思い出す。

友美 あっ！……！モーニングコール！

701号室のお客様、夕食まで仮眠とるから起こしてくわって！

あたる え！？何時に！？(起こしてくわって)

友美 17時に。

あたる (時計を見て) 1時間過ぎてるっ！

友美 そのお客さん、今日は大事な会食があるみたいで。

あたる オーマイガー！

望 僕、電話します！

あたる いいー直接部屋に行くーそして謝罪しよう！

友美 すみません！

あたる (望に) 望くんは、あちらのお客さんの荷物を！

望 はい！

あたる もう次から次へとおおー…！

あたる、友美、走り去る。

望、ホテルにやってきた客に駆け寄る。

客は、スーツケース・ボストンバッグ・リュックサックと大量の荷物を持っている。

望 (客に) いらっしやいませ、お荷物お持ち…。

望、その荷物量を見て絶句する。

彩子と虫島。

虫島 あの、準備っていろいろのは、何の…？

彩子 もうじきでしょ、クリスマス。

虫島 クリスマス……（思い出して）…っべー……！

彩子 「っべ」?? 「っべ」ってなによ??

虫島 （盛大に慌てて）えーあーあーあーあー！

彩子 「やっべ」の「っべ」じゃないの??もしかして忘れて…。

虫島 （盛大に慌てて）違います違います！

「っべ」は、あの、「準備はバッチリだっべ」の「っべ」です！

出身東北なんで、はははは。

彩子 「準備はバッチリだっべ」???

中島 を、ギョツとして、「っべ」。

彩子 ギョツとすすぎじゃないかしら??

中島 そうですかあ?はははは！

彩子 ま、バッチリならいいのよいいのよっ。

楽しみだわー♪クリスマス♪（鼻歌を歌う）

虫島 （彩子に見えないように）…っべ…!!…っべ…!!…！

ワクワクする彩子。

ドギマギする虫島。

『ホテルのあちらこちらでドタバタする様子』

- ・翔平、喧嘩をするお客さんの仲裁に入って場を鎮めようとする。
- ・友美・あたる、憤慨するパシヤマ姿のお客さんにひたすら謝る。
- ・クリスマスにワクワクする彩子と、めっちゃくちゃ焦る虫島。

- ・望、お客さんの大量の荷物をどうにか抱えてよたよた歩く。
 - ・妙子、スーツケースを軽々持って、スキップをする。
 - ・翔平、喧嘩していたお客さんにノックアウトされる。
 - ・あたる、パジャマ姿のお客さんに行きすぎた土下座（うつぶせ）。
 - ・望、限界が来て荷物を持ったまま倒れこむ。
- 見かねた妙子が荷物を軽々もって運ぶ。

傍観していた一輝、また客席を向いて話し出す。

一輝 と、まあ、こんな感じに、

ホテルは毎日、ドタバタアタフタしております。
大変なんですよ、ほんとに。

一輝、椅子に腰かけるなどして休む。
と、ひょっこり、キラ（座敷童子）が一輝の横に現れる。

キラ 君は手伝わなくていいの？？

一輝 （キラに気づかず）俺はいま休憩時間ですから。

キラ みんな忙しそうだし、行ってあげたら。

一輝 （キラに気づかず）ダメです。

休憩時間と退勤時間は絶対に守る。それが俺のポリシー。

キラ
でも出勤時間は守らないよね？

一輝
(キラに気づかず) そうそうっ、今日も遅刻しちゃってー(笑)。

と、一輝、やっとキラの存在に気づく。

一輝
うわ……！……！

キラ
(見つかっちゃった、というポーズをとる) ……っ。

一輝
…え……??…誰……???

キラ
…座敷童子。…的な?

一輝
的な???

|| オープニングアクト ||

【第2場 忘れられたクリスマス】

時刻は22時。ホテル業務のピークは過ぎて退勤準備をする従業員も。バックヤード。一輝と彩子がいる。

彩子 どうしたいのよ???

一輝 だから何度も言ってるじゃん、やめたいんだって、この仕事。

彩子 そのあとの話よ。やめてどうしたいのって聞いているの。

一輝 ……とくに決めてないけど。

彩子 じゃあダメね。

一輝 やめてから決めるで良いでしょ?

彩子 ダメ。どうせまたエブリデイホリデイのニート生活に戻るだけじゃない。

一輝 自分で言うのもアシだけど、俺、結構がんばったよ?

ここ来てもうじき1年だよ?十分働いたよ。

エラいね、立派だね。でもダメ!

なんでだよー。

翔平、やってきて。

翔平 お疲れさまでえす!

あらー、オーナー、まだいらっしやっただんですかあ?

彩子 翔平くんからも言ってるよー。

翔平 なんですか???

彩子 まだやめるとか言っているのよ。

翔平 あらら。 (一輝に) おいおいおいー、そんなこと言うなよー。

一輝がなくなったなら寂しいぜ？俺達、親友だろ？

一輝 親友？？

翔平 ああ。(しみじみ) 1年前、一輝がこのホテルにきて、

それから、一緒に仕事して……。うん。親友じゃないか。

一輝 親友のボーダーが低いぞ。

彩子 泣ける。

なんでだよ。

翔平 (一輝に) つーかさ、やめてどうすんの？

彩子 そうーそこなの！

私はね、別にね、ここで無理に働くことないと思うの。

他にやりたいことがあれば、ねっ。

翔平 ごもっともでございますー！

彩子 じゃあ、レストランで働いてみる？イタリアンのお店、紹介しようか？

一輝 そこ、オーナー、母さんでしょ？

そうよ。他には、ケーキ屋さんもあるわよ？

あ、アパレルは興味ない？アパレルってのは服屋さんのこと。

知ってるよ！その服屋も母さんがオーナーだろ？嫌だよ。

翔平 (彩子に) 色んなお店お持ちで、さすがですっ。

じゃあ、いわゆるサラリーマンでもなってみるっ。

絶対向いてないよ。

彩子 公務員は？警察官とか！

一輝 正義感無いもん。
翔平 陶芸家！
一輝 凶工とか苦手だったから。
彩子 美容師は！
一輝 無理無理。
翔平 イタコ！
一輝 そんな能力ないからなあ。
彩子 保育士！
一輝 子供苦手なんだよなあ。
翔平 ひよこ鑑定士！
一輝 (翔平に) さっきからなに！？
イタコとか、特殊な職業ばっか！なんだよひよこ鑑定士って？
一輝 生まれただっかのヒナの性別を鑑定する立派な職業だぞ？馬鹿にすんな。
馬鹿にはしてない！
一輝 とにかく！俺の人生は俺が決める。好きにさせてくれ。
翔平 …… (彩子に) 厨二病ですね。
一輝 うるさいなあもう！
翔平 だいたい、お前、年下だろ？あんまり年上をおちよくるな！
一輝 ここでは俺の方が先輩さんだからっ。
翔平 そうよ、先輩さん様よ？
一輝 先輩さん様ってなんだよ。さんと様がダブっておかしな意味になる——
彩子 (一輝をさえぎって) あ、そうそう。そういえばわ。
一輝 ちょっとさえぎらないで。

彩子 どんな感じ？クリスマスは。

翔平 クリスマスですかー。

彩子 ま、恋人とかいれば、一緒に過ごしたりしたいんですけどねー？。(笑)
違うわよ、ここよ。ここでどんなことするのよー。

△ッシー(虫島)に聞いても教えてくれなくてさー。

翔平 …ん？なんのことですか？？

彩子 え？？なんのことって、知らないの？？

と、そこへ虫島が慌ててやってくる。

虫島 まあまあまあまああーめえめえめえめえめえー！

彩子 ヤギ？？

虫島 もうその話はいいじゃないですかあー！！

彩子 よくないわよー、大事な行事なんだからさー。

虫島 バッチリだっべですからー！！任せてくださいー！！

彩子 どんなことするのー？教えてよー。

虫島 それはもう、すんげーことです！すんげーことやりますから！

彩子 すんげーってなによ？？

虫島 すんげーは、すんげーですー！

当日をお楽しみにということぞー！！

お疲れさまでしたー！(無理やり帰そうとする)

彩子 ちよ、ちよっとなに？？

虫島 これからみんなで準備をいたしますので！

今日はどうせどうせお帰りくださいー！（無理やり帰そうとする）

虫島、かなり強引に彩子を帰す。（舞台袖へ）

虫島、息を切らしながら戻ってきて。

虫島 ……っべ…！っべ…っべ…！（やっべ）

翔平 支配人。クリスマスって??

と、このタイミングで。

あたる・友美・望が業務を終えてやってくる。

一同 （口々に）お疲れさまです。

虫島 （全体に）み、みなさんーちよいと、よろしいでしょうっかあ??

あたる ……??なんですか??

虫島、一同に、事情を説明する描写。

虫島から事情を聞かされた一回。
そわそわウロウロする虫島。

あたる オーマイガー…(溜息をついて頭を抱える)。

翔平 なんでもそんな大事なことを忘れてたんですかあ!?

望 それは、5年に1度、やってるんですか??

友美 そう。5年に1度、クリスマスの日、このホテルで、

日ごろの感謝をこめて、従業員みんなでショーをやるの。

翔平 ショーってどういう??

友美 歌ったり、踊ったり、その年によって内容は変わるけど。

翔平 へー、楽しそう!

望 みんなでやるんですか?

友美 そう。練習してね。

あたる 当日は、宿泊客はもちろん、オーナーの関係者とか、

エライ人もいっぱいくるんだあ…。

翔平 やば!

望 それを忘れてたって、まずくないですか??

クリスマスまであと、二週間しかないですよ?

虫島 …あたるくん。…やっちゃいましたね。

あたる ぼ、僕ですか?

虫島 マネージャーの君が、まさかこんな大事なことを忘れるなんて。

やっちゃいましたね。

あたる 忘れてたっというか、支配人から何もアクションが無かったので、今年はやらないのかなと。

虫島 人のせいにするなんて最低ですよ。

あたる いや、支配人が、いままさに人のせいにしてようとしているような。

虫島 あーもー！だいたいさ！なんだよ5年に1度って！忘れるわい！
オリンピックもワールドカップも4年に1度だろ！

なんだよ5年に1度って！

……じゃあ、あとは、あたるくんにご責任とってもらって。

あたる えええー!?!?

虫島、逃げるように走り去る。

翔平 逃げたあー!!

あたる マジかよマジかよおお（頭を抱える）

友美 マネージャーは悪くないと思いますよ。

望 （あたるに）中止とかにはできませんか？

あたる いやあ、どうだろおお、まずいんじゃないかなあ……!

昔っからの恒例イベントだからあ。

なにより、オーナーがすごく楽しむにめちゃってるからなあ。

翔平 まあ、こうなったことはもうしょうがないっすよー。

今からなにやるか考えればいいんじゃないっすかあ!

あたる あと二週間しかないんだよお？間に合わないよお、絶対にい。

翔平 大丈夫ですって、どうにかありますよお、きつとーっ。

やりまじゅうやりまじゅう！

と、「やりまじゅう」「どっすねばいいんだ」など、口々に言い合う。
傍観していた一輝、しれっと退勤する。

一輝 …… あっ、退勤時間になったんで、帰りまーす。

一輝、去る。

【 第3場 座敷童子的な 】

次の日。

一輝、ベルボーイとして業務を行う。

客、一輝にルームキーを渡す。

一輝

キーのお預かりですね。

お帰りの際はフロントでお受け取りください。
いってらっしゃいませ。

別の客、タクシーをお願いする。

一輝

タクシーの手配でしたら、フロントにお申しつけください。
あちらです。

と、業務をこなしていると、キラが現れる。

キラ

意外と仕事はしっかりしてるねー。

一輝

これくらい誰でもできるよ。1年もやってたら。

キラ

立派だよ、エライよ、うんうん。

ただ、今日も遅刻してなかったあ？

一輝

だってさ、昨日遅番で、今日早番だぞ。

起きれるわけじゃないじゃん。どうなってんの、シフト。

キラ それは大変だあ。

一輝 ……ていうかさ、なんなの？

キラ なにー？

一輝 いや、君は、なんなの？

キラ 何回も言ってるじゃないかー。

このホテルに住み着く、「座敷童子的なやつ」だよ？

一輝 ……理解が追いつかない。

キラ 追いついてきてえ。

一輝 俺にしか見えてないんだよね？

キラ そうそう。他の人から一切見えてないの。

あ、だから、僕と会話するときは注意して。

周りからはずっと、君が独り言しゃべってるみたいになるからさ。

離れたところの2人の客が、一輝を見てひそひそ話。

「あの人、誰としゃべってるの？」「やばい人かも」など。

一輝 ……(誤魔化すように片耳に手を当てて)もしもし、はい、わかりました！。

客同士「仕事の連絡してるだけか」などと腑に落ちる。

キラ 上手ー、誤魔化し方がー。

一輝 ……座敷童子って、なんだっけ？妖怪？幽霊？

キラ えっとー、家とか、建物とかに住み着いて。

その場所で、災い？ま、悪いことが起きないように、
こう、平和を保つ、みたいなの？そんな感じ？たぶん？

一輝
なんで曖昧なんだよ、自分のことなのに。

キラ
だって僕は、「座敷童子“的なやつ”」だから。

座敷童子とはちよっと違うと思う。たぶん。

一輝
全部曖昧だな。

キラ
結構ね、経営がうまくいなくて潰れちゃうホテルだって、

世の中にはいっぱいあるんだよ？

そんな中、長年、こうやってお客さんも途絶えることなく、

やっていけるのって、すごいことだよ？

それもこれも座敷童子的な僕がここにいるおかげと言っても過言ではない。

一輝
……あー、ダメだ。やっぱり理解が追いつかない。

ってかなんで俺だけ見えちゃってんだよお。

キラ
なんでだろうね？僕が知りたいよ。

一輝
そっちから出てきたんだろ？

キラ
出てきたわけじゃない。

君が勝手に僕を見えるようになったんだ。

こっちから言わせれば、なに見えてんだよ！って感じ。

一輝
見えたくて見えてるわけじゃないよ。

キラ
って考えると、僕も理解が追いつかないね、今のこの状況。

でもきくと、なにかしら、意味があるんじゃないかって思うな。

一輝
意味？？

キラ
そう、君が僕を見えるようになった意味。あるはずだよ。

一輝 ……。

キラ ……ただ、これだけは言える。

僕はうれしい。君に会えてうれしい。

は???

一輝

そこへ、翔平がやってくる。

翔平 おはよー！（快活に）

一輝 おはよう。あれ?? 今日出勤だっけ??

翔平 違うよー。

一輝 は?なんでいんの???

翔平 例のクリスマスのやつ。準備しないとだろ?

だから来たんだよー。

一輝 なんでそんな気合い入ってんだよ。

翔平 だって文化祭みたいですし楽しそうじゃん!俺、こーいうの大好き!

というか一輝!昨日さ、しれっと帰んなよーっ。

一輝 帰るよ、今日早番なんだから。

翔平 あの後さ、みんなであーでもこーでもないって、夜通し話したんだぜ?

こんな感じにっ!

と、翔平が言うと、昨晚の回想シーンへ。

クリスマスショーの会議シーン。

翔平、あたる、友美、望の4人で話し合う。

(一輝とキラは、このシーンを離れたところから見る)

あたる 歌、ダンス、手品、ジャグリング、パントマイム、

演劇、お笑い、モノマネ、漫才…。

いま拵がった案は、この辺りですかねー…。

翔平 どれも楽しそうじゃないですかあ！

あたる とにかく時間だね。

どれも、今から準備するのは圧倒的に時間が足りない。

友美 前に、みんなでダンスやったときは、半年くらい前から練習してました。

翔平 半年!?

ま、でも、僕ら素人がやろうとすると、そのくらいかかりますよねえ。

あたる 二週間じゃできることが限られるぞあ。

翔平 わかったー!じゃあ、練習しなくても、いますぐにできる、

そういう特技とかある人ー!

あたる なるほど。特技ねえ。

望 (自信無さげに) あの一。僕、けん玉ができます。

翔平 いいじゃんいいじゃん!

望、けん玉をポケットから取り出して。

あたる　　なんで持ってたんだよ！

望　　じゃあ、やります。

(ドラムロール)。

望、一番大きいところに、玉を入れる。

成功しても、失敗しても、冷ややかな反応。

あたる　　ひどいひどいひどい！全く盛り上がりがないよ！

得意って言ったから、なんかすごい技やるかと思ったー！

望　　あと、あやとりもできますよ？

あたる　　地味だなあ、あやとり地味だなあ。

望　　(あやとりをとりだしてやりはじめる)。

あたる　　なんで持ってたんだよ！

翔平　　俺、般若心経、ぜんぶ言えます！

あたる　　ちょっとすごいけど、クリスマスだから。

クリスマスに般若心経は、だいぶミスマッチよ。

翔平　　あ、そっか。

友美　　(挙手して)私、どこでも寝れます。

あたる　　それ、どうやってシヨールで見せるの!？

翔平　　(挙手して)俺！多少賞味期限切れたものでも食べます！

あたる　　それもどうやってシヨールで見せるの!？

友美　　(挙手して)私、1駅くらいなら歩きます。

あたる　　それただの節約だから！

翔平 (挙手して) 俺、500円玉貯金もうすぐ貯まります！

あたる なんの報告だよ！知らないよそんなこと！

望 (あやとりがからまっている)。

あたる あやとり全然できねえなー！

なごと言いかう。

※ 演者さんの中で、リアルに地味な特技を持っていたら、
それを入れ込んで面白いかもかもしれません。

翔平 あたるさんは、なんか無いんですか？

友美 そうですよー、特技言ってくださいっ。

あたる 俺??えっとー。(ひねり出す)

…朝、目覚ましが鳴る前に、起きることが出来る。

友美 …老いです。それはただの老いです。

あたる …平らなところで、転ぶことができます。

友美 老いです。悲しいかな老いです！

翔平 特技でもなんでも無いじゃないですかぁ。

あたる (思い出して) そうだ!! 友美ちゃんって、歌えるよね??

望 歌??

あたる そう！歌手だよ、歌手！

翔平 歌手!??

友美 …歌手って言えるようなものじゃなくて、お店で、その。

あたる たしかー支配人が通ってたショーレストランで、シンガーやってて！

で、そのつながり、ここで働くようになって！

望 そうだったんですか？

翔平 じゃあ、歌は大得意なことですよね！？

友美 大したことないから。

あたる 例えば、友美ちゃんにクリスマスソングなんかを歌ってもらって、

もうそれでよくない！？

翔平 良い！良い！

友美 いや、あの、私、もう歌えませんから。

あたる そんなことないでしょー！歌えるでしょー！

翔平 聴きたい聴きたい！

友美 歌えせんから。

あたる 絶対盛り上がるじゃーん！

少なくともけん玉とかあやとりよりは遥かに盛り上がる！

友美ちゃんしかない！決定です！！

と、いつのまにか妙子がやってくる。

掃除道具であたるを小突く。

あたる いった…！

妙子 本人が歌えないって言ってんだから歌えないの！

…話はすべて聞いてたわー。

翔平 どうで？いつから？

妙子 　　そういえば、クリスマスショーの時期なのねー。

　　時が経つのは早いものねー。(しみじみと)

望 　　妙子さんは、ショーは何度も？

妙子 　　長いからねー、私はー。

　　たしかに歌はいいんだけどねー、あとはダンスとかー。

　　やっぱりそういうのが盛り上がるのよ。

　　オーナーも派手なヤツが好きだしね。

　　1回ね、趣向を変えて、みんなでボイスパーカッションをやらう！

　　ってなってね。大失敗したわ。

　　そうなんですか？

妙子 　　あれ素人がやっても盛り上がりがないのよ。ツバとぶし、きたねーし。

　　結局ね、ドーンで音楽鳴らして、ワーって歌って、バーンって踊るとけば、

　　安易に盛り上がるから。

望 　　乱暴な言い方だけの的を得ている気がする。

翔平 　　わかった！じゃあ！ミュージカル！！

一同 　　え???

翔平 　　ミュージカルはどうですか!?

　　あれって、歌って踊って、そういう感じじゃないですか？

　　詳しくないんでわかんないんですけど！(笑)

　　…決定！

妙子 　　採用ー！(喜び)

翔平 　　待ってください待ってください！

　　は!?!ミュージカル!?!無理ですよ!

あたる

妙子 もう決定したから。

あたる よく考えてください！二週間しかないんですよ！？

妙子 時間ないからこそ、これをやる！ってさっさと決めた方がいいから。

友美 ミュージカルってことは、お芝居ですよ？演目とかは？

妙子 そうねー、ミス・サイゴンとか？3時間くらいあるけど。

あたる 無理無理無理！

妙子 し・ミゼにする？あれも3時間。

あたる 無理無理無理無理！！

望 ショーって、いつもだいたい何分くらいやるんですか？

友美 10分ちよっとくらいかな。

翔平 そのくらいの短い演目ないんですか！？

妙子 ないわよ。ミュージカルって基本なげーのよ。

あたる やめましょう、無理です、別の案を考えましょう！

望 ちよっと難しそうですね。やれる演目がないんだったら。

妙子 無いなら作ればいい……！！！！

一同 え？？？

妙子 ……みんなに、宿題を出します。

「このホテルであった、思い出に残っているエピソード」。

これを、明日、発表してもらいますので、用意しておいてください。

あたる 思い出に残ってるエピソード……？？

友美 それは実際にあった？

妙子 そう！宿題ね！

じゃ今日はもう遅いので解散！おつかれさまでしたー！

翔平 おつかれさまでしたー！
あたる (妙子さん)めっちゃくちゃ仕切るじゃん…。

それぞれ、去る。

以上、回想シーン。

回想戻り。

一輝、翔平、そしてキラ。

翔平 という感じー。

ま、だからさ、一輝も宿題よろしくな。

は？俺も？

翔平 当たり前じゃん、一輝もショーに参加するんだから。

一輝 いやいやいや、しないから。

翔平 ダメだよ、従業員みんな参加するんだよ！

一輝 だって、俺、やめるんだよ？このホテル。

翔平 やめもしないし、ショーにも参加する！

一輝 やだよー！

キラ がんばってー、ファイトーっ。

一輝 (キラに) いやいや！やらないから、俺！

キラ いいじゃん、楽しそうじゃん。

一輝 (キラに) 絶対やらない!

翔平 ん?? 誰と話してんの???

一輝 (耳をおさえて) …もしもし、俺、やりませんから、はい。(と誤魔化す)

翔平 インカム何も来てないよ???

一輝 (慌てて) あ、いや、えっと、休憩入りまーす!!

一輝、逃げるように去る。

後を追うようにキラが去る。

一輝 (キラに) 変なタイミングで話しかけないでくれよー!

キラ ごめんごめん!。

翔平、誰かと会話をしながら去る一輝を見て。

翔平 …なんだ…??

【 第4場 ホテルマンのミュージカル? 】

虫島、スマホ見てニヤニヤ。

虫島

(スマホを見ながら) アメリカンショートヘア、かわいいい。にひひひ。僕も「ショートヘア」だよー。仲間だねえー。

そこへ、彩子がやってくる。

手にはクリスマスショーのポスター。

彩子

ムッシー!

虫島

(慌てて) ニヤっ! オナー! おはようございます!

彩子

これ、ポスター作ったから。クリスマスの。

何やるか教えてくれないからさ、デザイン考えるの大変だったのよ。

彩子、ポスターを虫島に見せる。

デカデカと「すんげーことやります!」と書いてある。

虫島

おおおう…。すんげえ…。

彩子

すんげーことやるんでしょ? まんま書いた。

これ、どっかに貼っといてねっ。

虫島 は、はい…、では、リネン室の方に貼っておきますね。

彩子 ちよっと、そんなとくに貼ってどうするのよ。

お客様誰も見れないじゃない。

虫島 あ、あー、たしかにたしかに、ははは。

彩子 目立つところにドーンって貼っておいてちよーだい。

虫島 か、かしこまりましたか。

彩子 ……ところでさあ、ムッシー。

一輝のことなんだけど。ぶっっちゃけどう？

虫島 どうって？？

仕事ぶり。しっかりやってるのかなあって。

彩子 はい、そりゃもう。しっかりやっていますよー。

さすがオーナーのお坊ちゃまですね、ははは。

虫島 気をつかわなくていいからさ。正直に言っつてよ、正直に。

彩子 正直にと言われましてもー、すばらしいの一言ですよお、ははは。

そんなはずない。ぶっっちゃけて、ぶっっちゃけて言っつて。

虫島 ……。ま、ぶっっちゃけ、最初は、コイツ大丈夫かなあって。

彩子 コイツって言わないで私の子だから。

虫島 ごめんなさい！…加減むじい（ムズイ）なあ…。

あの、すこし心配してたんですよ、一輝くんのこと。

すぐやめちゃうんじゃないかなあって。

でも、遅刻はあるけど、休まず、気づけば1年。

彩子 たった1年じゃない。

虫島 いやいや、今の子は、気に入らなかつたらすべしめぢやいすすからねー。

1年続けるって、なかなかすいと思ひますよ。

…向いてるかもしねませんよ、この仕事。

向いてる？それほんとに言ってる？

はい。やっぱり血は争えませぬねー。

一輝くんは、ホテルマンのサラブレッドですから。

…どつちに似たと思う？私か、それとも。

それは、やっぱりオーナーじゃないですかねー。

え、どついうところが似てると思うの？

そのー、頑固(言い直して)意志の強さ、とか。

わがまま(言い直して)自分の世界を持っているところとか。

良い言葉に言い換えたわよね？

あ、ただ…。たまーに見せる笑顔は、お父さん似、ですかね。

…そうっ。

…じゃ、これ(ポスター)。貼ってきますっ。

虫島、ポスターを持って去る。

以上のやりとりを、しれっと聞いていたキラ。

キラ ……。

彩子 (遠くに向かって) …笑顔はお父さん似。だって。

キラ ……。(ニリッと笑顔を見せる)

クリスマスショーの作戦会議。

一輝・翔平・あたる・妙子・友美・望。

妙子 これよりクリスマスショーの作戦会議を始める。

昨日の宿題を発表してください。では、一輝くんから。

一輝 え、俺からですか？

妙子 早く。

一輝 いや、昨日、その話し合いに参加していないし。

翔平 でも宿題は用意しておいてって俺言ったじゃんっ。

妙子 はやーくっ。

一輝 ……。ホテルで起きたエピソードといえば、

ここで働き始めたときに、お客さんから（と話そうとする）

妙子 あ、やって。

一輝 …はははっ。

妙子 言葉で言っても伝わらないういから、やって。

一輝 やってとほっ？

妙子 そのエピソード、再現して。

気づくと、離れた場所にスポットが当たって、そこにはセットが。そこにはエピソードに登場するクレーン客も立っている。

一輝 えっ？
妙子 どうぞ。
翔平 がんばっ！
一輝 ……。

一輝、そのセットの場所に移動して、エピソードを再現する。

——（一輝のエピソード）

一輝、エピソードを話し始める。
客室。客1に呼ばれてやってきた一輝。

一輝 ある日のことフロントに「すぐに部屋に来て！」と電話が鳴りました。
部屋に行くと、なにやら探し物をしている様子。

（客1に）なにかお探でしょうか？
客1 メガネよ！私の大事なメガネが無いのよお！

という客1は、普通にメガネをしている。
そのメガネは、縁が赤くて特徴的である。

一輝 ……メガネ…ですか？？メガネでしたら…（と言いかけるが）
客1 あんたも探してよ！

一輝 え、あ、はい。(探す)
客1 もう！どこいったのよお！
一輝 ちなみにお客様、メガネの特徴は？
客1 縁が赤いやつよ！
一輝 な、なるほどー。
客1 もし見つからなかった責任とってくださいねえ！
一輝 いやー、それはー。
客1 どうすんのよお、わたし、メガネが無いと何にも見えないのよお！
一輝 何にも見えない？
客1 もー！早く見つけてよ！(探す)
一輝 (メモ帳をとりだして何かを書く) …お客様、お客様！
客1 見つかったあ！？
一輝 あ、いえ、あの一、(メモ帳を見せて)この文字、読めますか？
客1 (読む) …「灯台もと暗し」。
一輝 …読めます…よね。
客1 なによ？なにが言いたいの…あ…！！(メガネに気づく)
一輝 見つかってよかったです。(ホッとする)
客1 …いま笑った？あんだ。
一輝 いえ、決して。
客1 馬鹿にしてんの、ねえ、笑ったよね！？
一輝 笑ってません。
客1 (怒る) 不愉快よ！こんなホテル二度と来ないわ！！
客1 (泣く) うううう…！！！！

一輝 お客様、大丈夫ですか？（ハンカチを渡す）

客1 （ハンカチを奪い取るように受け取り）うううう……！！

（メガネの上から涙を拭く）…。

一輝 お客様ま、メガネの上からだ。

客1 うるさい！！（ハンカチを投げる）

妙子 カット！！（と言うと再現が終わる）

一輝、再現を終えて戻ってくる。
拍手で迎えられる。

翔平 お疲れ！よかったよかった！（と一輝を称える）

あたる なかなかのお客さんだったね。

妙子 …では、いいかしら。

今のエピソードを、ミュージカルにしてちょうだい。

えっ？みゆ、ミュージカル？？

そう。音楽流すわよー。

えっ？え？

妙子、どこからかデカめのラジカセを取り出す。

あたる このタイプのラジカセ、久しぶりに見た。
妙子 はい、スタート。

妙子、ラジカセの再生ボタンを押す。
ミュージカル風のBGMが流れる。

一輝 ちょっとまってください、え？え？(慌てる)
妙子 レッツミュージカル!!

——(一輝・即興ミュージカル)

一輝、妙子に焚きつけられるように、再現セットへ向かう。

一輝 え？え？(戸惑う)
妙子 (煽る)レッツミュージカル!!

一輝、なんとなく音楽に合わせて、
ミュージカルナンバー風にやってみる。

一輝 本当にあったホテルのエピソード♪
メガネをかけたお客さんが♪メガネを無くしたと♪言っている♪
お客さま♪この文字読めますか♪(メモ帳を見せる)

妙子 ……………!! (気づいた様子)

一輝 灯台もと暗し〜♪この世はすべて〜♪灯台もと暗し〜♪ (だいぶテキトー)

妙子、ラジカセの停止ボタンを押してBGMを止める。

妙子 ひどいわね。

一輝 妙子さんがやらせたんでしょ!!

翔平 すんごい面白かった!

一輝 馬鹿にするな!

あたる もしかして、ホテルで起こった実際のエピソードを、

ミュージカルの演目にするってことですか?

妙子 イエス!

翔平 おお! 名案ですね!!

あたる 名案なのかあ??

妙子 次のエピソードは、君! (望に)

望 ぼ、僕ですか?

妙子 レッツミュージカル!

望 いきなりのい!?

——(望・即興ミュージカル)

望、ホテルのエピソードをミュージカル風に表現。
即興で、とってもグダグダな感じである。

セットや、エピソードに登場する客は、テンポよく入れ替える。

望を囲むように、客2・客3。

望 僕は、働き始めて半年の、新人ベルボーイ〜♪

分からないことだらけ〜♪

客2 (望に) お土産を宅急便で送りたいんだけど。

客3 (望に) 近くにおいしい和食食べられるお店ない？

望 分からないことだらけ〜♪

客2 (望に) 部屋のシャワーの勢いが弱いんですけど。

客3 (望に) 遅くまでやってる薬局ないかしら？

望 僕に聞かないで〜♪僕に期待しないで〜♪

(客1・客2)(ごめんなさい!!)(その場から逃げる)

客2・客3 あ、ちよつとー!

望、なんとかやり遂げる。

以下、矢継ぎ早に、むちゃぶりのミュージカルをやらせる。

妙子 はい、次はあなた(友美)!

友美 わたし???
妙子 シッツミュージカル！（友美を押し）

——（友美・即興ミュージカル）

友美、ホテルのエピソードをミュージカル風に表現。

即興だが、さすがの元ショールガールの歌声で、それなりに出来ている。

友美に態度の大きい客4（男性客の体で演じる）とやりとり。

友美 こちらはやっかいな常連客の男♪

客4 長旅で疲れた。肩をもんでくれないか？

友美 そのようなサービスは行っておりません。

客4 早く！

友美 （しぶしぶ肩をもみながら）わがままで、横暴で、とつてもやっかい♪

客4 （コップを）ビール。お酌してくれ。

友美 そのようなサービスは行って——

客4 早く！

友美 （しぶしぶお酌をして）私はスナックのママじゃなあい♪

客4 君も一杯どうぞだ。

友美 私は勤務中ですので。

客4 俺の酒が飲めないか!?

友美 もうやだあ♪ぶざけるなあ♪こんな客は出てけえ♪

ゲットアウト♪ゲットアウトオオオ♪

と、美声でシャウトする。

友美、元シヨールガールのポテンシャルを発揮する。

一同 (拍手をする)。

あたる すげえ！結構しつかりミュージカルになってる！

妙子 次はマネージャー！

あたる お、俺かあ。

妙子 GO!!

——(あたる・即興ミュージカル)

あたる、ホテルのエピソードをミュージカル風に表現。

即興な感じで、とってもグダグダな感じである。

支配人の虫島が浮かび上がる。スマホを見てにやにやしている。

あたると虫島のやりとり。

あたる なにを隠そうこちらはホテルの支配人♪♪

いっつもスマホで猫の動画♪♪めんどろな仕事は、全部、私に♪♪

虫島 マネージャー、やっといてー。

あたる なにかあったら、責任は、全部、私に♪♪

虫島 週末なのに空室が多すぎる。(あたる) やっちゃったね！。

あたる なにかがおかしい♪ 理不尽すぎる♪♪

虫島 (スマホを見て) かわいい♪。

あたる (爆発して)

そんなに猫が好きなら、生まれ変わって猫になれえ！聞いているかあ！

あなたもマンチカンにしてやるおかあー！！

友美・望、あたるを止めに入る。

妙子 カットカット！終わり終わり！

以上で、一旦、即興ミュージカルのくだりは終わり。

妙子 どうかしら？もちろんまだまだ練習は必要だけど、

ホテルエピソードミュージカルよ。

待ってください、俺、まだやってないです！

もういいわ、まだ今度でね。

ええ！とびっきりのエピソード持ってきたのにー！

(勝手にやる) 夜勤はくくねむいっ♪

望 (さえぎって) ホテルエピソードミュージカル、ちょっと面白いかもしれませんね。

あたる 時間も無いですし、この線でいきましょつか??

ではクリスマスショーの演目はこれで決定ー

翔平 (いえいー！) (拍手)

妙子

翔平

一回、拍手をする。

一輝

(挙手して)あの、ちょっといいですか??

今みなさんが言ったエピソードって、

こういう嫌なお客さんがいました、ふざけるな、出てけ、みたいな。

そういうのばかりだったじゃないですか?

いくら困ったお客さんがいたからって、それをショーで披露するのは、ホテルのイメージ悪くないですか?

一輝、かなり冷静な意見。

間。

あたる

…正論すぎてなにも言い返せない。

友美

たしかにそうね…。

今の感じでやったら、このホテル、炎上しますね。

あたる

炎上!それはマズイよお。

翔平

良いじゃないですか、バズりそうだしっ。

あたる

その思考がよくない!!

妙子

…たしかにこの子(一輝)の言う通りね。

このままやったら、ただの仕事の愚痴大会になっちゃうわね。

あたる

私達が気持ちいいだけだ…。

クリスマスは何やってんだって感じた…。

望 どうします？ミュージカルやめます？

妙子 いや、ミュージカルはやりたい。

あたる 妙子さん、ミュージカル大好きでしょ？

妙子 大好きです。

あたる やっぱり。

妙子 えー、じゃあ、これはどうかしら？

「このホテルであった、ステキな『エピソード』。これをください。

翔平 ステキな？？」

妙子 そうよ、ステキな。この仕事やってよかったー、みたいな。

どんどん言っちゃーだい。

間。

あたる ……全然出てこねーじゃん！

翔平 いやー、いっぱいあるはずなんですけどね、急に言われるとーっ。

望 困ったこと、嫌なことは、いっぱい出てくるんですけどね…。

妙子 みんなどんだけストレス抱えて働いてんのよ。

友美 宿題でいいですか？？」

妙子 ……そうね。

ではみなさん、明日までに捻りだしておいてください。

散！！（解散！）

妙子言いつて、作戦会議は終了。

一回、「なんかあったかなあ」などと考えながら去る。

【 第5場 座敷童子のステキなストーリー 】

次の日。

一輝とキラの会話。

キラ

ふーん。“ステキな”エピソードねー。

一輝

全く思い浮かばないなー。

ま、そんな良いエピソードがあったら、

俺、やめたいって思わないもんな、この仕事。

キラ

きつとあるはずだよ、ベルボーイやってよかったーっていうの。

一輝

んー。チップいっぱいもらったとか？外国人の旅行者客からさ。

キラ

それをミュージカルに。チップでがっぼり〜♪（一節やる）

一輝

下品だなあ。

キラ

じゃあほら、お客様から言われてうれしかったこと。

一輝

んー。1回だけ、イクメンって言われたことある。

キラ

イクメンでよかった〜♪（一節）

一輝

下品だなあ。

んー。ダメだ、全然思い浮かばない。

キラ

…見落としちゃうんだよ。

忙しかったり疲れてたりするとか、

嫌なことばかり印象に残っちゃうってさ、

ステキなことを見落としちゃうんだよ、きつと。

一輝 ……そういうものかなあ？

キラ きっとね。

一輝 ……というかさ。君は、なんかないの？

キラ ん？

一輝 ずーっとこのホテルに住み着いてるんでしょ？

キラ 良い感じのエピソード、君なら知ってるんじゃない？

一輝 その前に、君、って呼ばれるのは、なんか嫌だなあ。

キラ ……じゃあ、座敷童子はさあ、って言った方がいいの？

一輝 それもやだなあ、だって、厳密には座敷童子じゃないし。座敷童子的なヤツだから。

キラ もうそれはわかったよ、めんどくさいなあ。

一輝 名前とかないの???

キラ 名前…。んー。名前かあ…。じゃあ。「キラ」で。

一輝 キラ???

キラ そう。キラキラキラ（光り輝く感じに）の、キラ。

一輝 なにそれ？いま決めた感じ？

キラ 僕の名前は…キラ！

一輝 ……じゃあ、キラ。ちよーだい。

キラ なにを？

一輝 さっきの話だよ。このホテルであったステキなエピソード。

キラ ずっとここに住み着いてるキラなら、1つや2つ知ってるでしょ？

キラ ちよーだいちよーだい。

キラ あるよ、あるけど、それは反則でしょ？

一輝 だって君の宿題でしょ？そこはやっぱり君のエピソードじゃないと。

一輝

キラ え？？

一輝 君じゃなくて、一輝で。

キラ ……一輝。…一輝！

一輝 それで（よろしく）。

キラ 一輝の宿題なんだから、一輝のエピソードじゃないとマズインじゃないの？

一輝 いいじゃん。ちよーだいちよーだい。

このホテルであった、とびきりステキなエピソード！

キラ ……。じゃあ。こんなのはどっ？

一輝 おっ。

キラが、とびきりの“ステキな”エピソードを話す。

以下、回想シーンのように情景が浮かび上がるように。

キラ

ちよっぴり昔の話。

舞台はここ。老舗のシティホテル「ロイヤルギフト」。

そこに、1人のベルボーイの青年がいた。

ベルボーイの青年が浮かび上がる。

（アンサンブルのどなたかがお面をかぶるなりして）

キラ

彼には、父親も母親もいなかった。
貧しくて寂しい幼少期を送るが、それでもたくましく育ち、
持ち前の明るさと人懐っこさを買われ、ここで働くことに。

支配人の虫島（当時の姿）で登場。

見た目も動作もとても若々しい。髪の毛もふさふさ、動きもキシキシだ。

虫島

（青年に）お疲れサマンサ。

一輝

支配人？わかっ！

虫島

（青年に）君はほんとに笑顔がステキだね。

お客様からとっても評判がいいぜ、ははは。

…ただね。職場の仲間とは、もうちょっと仲良くした方がいいと思うぜっ。

虫島、若々しい軽やかなステップで去る。

キラ

お客様からの評判はよかった彼であったが、
職場の同僚からは、あまりよく思われていなかった。

育ってきた環境からなのか、それとも、別に理由があるのか。

でも、決して腐らず、明るく笑顔で仕事をしていました。

…そして、あるクリスマスの日。運命の出会いが…！

そこへ、お金持ちそつなお嬢様が現れる。ピンスポットが当たる。
(アンサンブルのどなたかがお面をかぶるなりして)

青年
……！

お嬢様
……！

恋が始まるような音楽が流れる。
キラキラした照明になる。

キラ
一目あったその瞬間、二人は恋に落ちる〜！

若かかれしの虫島、お嬢様に近づいて。

虫島
これはこれは、メリークリスマス！

お嬢様っ！今日は遊びに来たんですかー？
お父様にはいつもお世話になっておりますー！。

キラ
一輝
えっ？？
そう！この女性、ホテルのオーナーのお嬢さんだったのです！

キラ
貧しい環境で育った下っ端ベルボーイと、
ホテルのオーナーのお嬢さま。
まるで映画のようなラブストーリーが始まったのです！

青年とお嬢さん、二人で幸せのダンスをする。
虫島、二人に拍手をする。

一輝 ちよっとまってちよっとまって。(止めて)

え??なにこの話???

キラ ステキじゃない?

一輝 いや、えー。オーナーのお嬢様ってことは…。

キラ この後、周囲の反対、なによりお嬢さんの親御さんの猛反対、色んなアレコレを乗り越えて、運命の出会いから丸一年、クリスマスに、永遠の愛を誓ったのであった。

一輝 …てことは?

キラ そう、結婚したんだ。

一輝 ……???

キラ ……そんなラブストーリーが、あったら、ステキじゃない?

一輝 あったら???は???え???作り話ってこと???

キラ ……どうでしょう???

一輝 どうでしょうじゃないよ!

キラ いいじゃないじゃん、どうせショーなんだからさ、

フィクションでもノンフィクションでも、この際どうでもー。

と、翔平が声をかける。

翔平 おーい、でっかい声で独り言してる一輝！

シヨ一の作戦会議だぞー！

一輝 いや、あの、独り言じゃなくて、これは…！

翔平・一輝、去る。

後を追うようにキラも去る。

【第6場 作戦会議！演目決定！】

クリスマスショーの作戦会議。

あたる・妙子・友美・望がいる。

ラジカセでBGMを流している。

それぞれ、自分の“ステキな”エピソードを、ミュージカル風に披露。

友美

外国人のお客様とコミュニケーション♪

英語、フランス語、中国語、自然と上達♪

サンキュー♪メルシー♪シェイシェイ♪

妙子

…次。

望

さすがは老舗のホテル♪

芸能人♪有名人♪いっぱい会えてラッキー♪

妙子

…次。

あたる

色んなお客様と出会い♪

めちやくちゃメンタル強くなりました♪ありがとうございます♪

翔平、一輝、追うようにキラがやってくる。

妙子

(翔平に) …次。

翔平

えっ？

妙子

宿題よ。

翔平 はい。えー。仕事〜♪楽しい〜♪以上。

妙子 (BGMを止める) …ひどいわ。

あたる ダメですか??

妙子 ぜーんぶ、大したことないエピソードね。

あたる というかあんた、「メンタル強くなった〜ありがとう〜」って、遠回しにお客さんディスってるからね。

あたる 言われてみればたしかに…。

翔平 俺は!?

妙子 内容ゼロじゃない。

望 友美さんは?すっごい良かったと思うんですけど。

あたる そうそう!さすが元シヨールガール!

妙子 歌は良いけど内容がイマイチ。

友美 もー、みんなもっとステキなエピソードないわけ?

望 そろそろシヨールの内容決めないと、時間的にマズイと思うんですが…。

妙子 クリスマス近づいてますね…。

あたる わかってるわよっ。

あたる でもだからってミュージカルに妥協は許されないっ!

妙子 もう完全に演出家になってる…。

一輝 (一輝を見て) あんたは???

一輝 …え??

妙子 え、じゃないわよ、宿題!

一輝 いや…、全然思い浮かばなくて。

妙子 あなたミュージカルをナメてるの??

あたる 演出家だ…。

キラ (一輝に) あるじゃん。

一輝 (キラに) なにが???

キラ (一輝に) さっき僕が話した。

一輝 (キラに) でも、あれは!

キラ (一輝に) いいじゃんいいじゃん。

一輝 (キラに) だって。

周りからは独り言をしゃべってるように見える。

翔平 最近、独り言ビドいですよ。(笑)

キラ、一輝の手をつかんで拳手をさせる。

キラ はい!俺、良いエピソードもってます。

一輝 (キラに) キラ…!

妙子 なに??あるの何か??

一輝 いや、えー……。

(仕方なく話す) …ま、あの、先に言っておきますが、おそろしく、いや、完全にフィクション。作り話なんですけど。

一輝、一同に話し始める。

一輝、キラから聞いたラブストーリーをみんなに話す。
(動きだけでダイジェスト的に処理)

一輝 ×××××××× (ロパク。説明する動き)

一同 (うなずく)

一輝 ×××××××× (ロパク。説明する動き)

一同 (うなずく)

一輝、話し終えて。

翔平 おお！超いいじゃん！！

望 なんかドラマみたいですねえ！

一輝 でも、これ完全にフィクションだからね？作り話！

あたる 演出家、いや妙子さん。

どうですか？この際、作り話でもいいと思っただけ。

友美 時間もありませんし、それに、ステキなお話じゃないですか？

翔平 ステキステキー！

妙子 (一輝に) ……この話…、あなたが考えたの？

一輝 考えたっていつか…。

もしホテルでこういう話があったらなんかステキかもなあ、
そう思っって、はい…。

妙子 ………。 (全体に) これでいきましょう。

翔平 決定！？おおおー！！

全員、大拍手。

あたる じゃあ、ショーのストーリーも決まったので、

早速、準備、練習、やっけていきますよう！

どうにか演目が決まり、フッと盛り上がる。

【 第7場 ドタバタ！クリスマスに向けて。 】

ドタバタとショーの準備をする様子。

(以下、軽快なBGMの中、テンポよくドタバタと進行)

キラ。正面を向いて。

キラ

こうしてクリスマスショーの演目が決定！

従業員達は慌ただしく準備を始めるのであった。

はたしてショーは成功するのでしょうか？乞うご期待！

勝手に口上をするキラに、一輝が。

一輝

乞うご期待って、どうするの？

やることになっちゃったじゃん、君の作り話！

キラ

作り話…。んー、たしかに「僕が紡いだラブストーリー」には違いないか。

一輝

なに言ってるんだ？？

キラ

大丈夫！絶対にうまくいくから！

僕を誰だと思ってるの？キラ童子的なヤツだよ？

幸福を呼び込む神様なヤツだよ？

一輝

というか、できれば俺はやりたくないんだよ、ショーなんて。

キラ そこをどうこう言ったってしょうがないよー。

クリスマスショーは従業員全員だからね。

やんなきゃ、このホテルで働く以上は。

一輝 働く以上はって、あのさ、何度も言うけど、俺はやめたいの。

キラ 一輝ー！

…なに???

キラ …がんばれ、いや、楽しめっ。一輝！(笑顔)

一輝 ……???

虫島、スマホ見てニヤニヤ。

虫島 (スマホを見ながら)ラグドール、モフモフしてるー。

フサフサー。うらやましいい、にひひひ。(テレテレ)

そこへ、彩子がやってきて。

彩子 ムッシーっ！

虫島 (慌てて)ニヤっ!!オーナー!!

彩子 驚くとき「ニヤっ」ってうらやまめくわなうさ。

虫島 あ、あ、あ、こまはなほ。

「彩子 ああ、こないだ渡した、クリスマスシヨアのポスター。

どこに貼った？見当たらないんだけど。

虫島 えー、それでしたら、家に…。

彩子 家！？？

虫島 はい。私の部屋に、貼ってます。

彩子 なんでムッシーの部屋に貼ってるのよ！

ホテルのお客様に見えるところに貼って言ったじゃん！

虫島 あーいや！あの、出来がよかったので、つい！

天井に貼りましてね、朝起きたら、すぐに「おはよう」って。

彩子 アイドルのポスターじゃないんだから！

すみません、つい、はははは。

虫島 ……というかさ、ほんとにシヨアの準備はできてるの？

で、できてますとも！順の調でございませう！

彩子 なんかあんまり準備してる感無くない？

そ、そうですね。

虫島 ほら私も一応オーナーだからさ、本番近いし、チェックしたいのよね。

彩子 ……チェック。はたして必要でしょうか？

必要じゃないとでも？変なことされたら困るじゃない。

虫島 ……困る。はたして困るでしょうか？

何言ってるの？？

虫島 自分でもわかりません。

彩子 はあ！？

そこへ、妙子がやってきて。

妙子 オーナー、おはようございます。

彩子 あらー、どうもどうもー。

ねえねえ、クリスマスショーの準備ってどうなってるの？

(慌てて) いや、あの、えー！

(妙子) ど、どうなってる！？しっかりと準備できてるだろうなあー！

妙子 あ、その話をちょっとしたくて。

ミュージカルをやることになったんですけど。

妙子 ミュージカル？へー、いいじゃない！

虫島 (乗っかって) そ、そうなんです！

ミュージカルやるんです！いいでしょー！

彩子 (虫島に) 演目は？というお話をやるの？

虫島 演目は、えー、CATS？ニャー！ははは、違うね、えっとー。

(妙子に) ほら！答えなさい！

妙子 そのミュージカルの、ストーリーなんですけど…。

妙子、彩子と虫島にストーリーを話す。

それを聞いて「えっ？？」という表情の彩子と虫島。

一方、こちらは従業員達。

一輝、翔平、あたる、友美、望が集まっている。一輝の隣にはキラも。

あたる 準備するって言っても、ミュージカルって、なにをどう準備すればあ???

翔平 ワァー! って感じですよ! ミュージカルは! ワァー!

あたる なんにも知らないだろ。

翔平 はい! サッパリです! (笑)

友美 まず、配役? を決めましょうか?

翔平 賛成!

あたる 主人公の青年から決めようか。

キラ (一輝の手を持ち上げて) やりますっ!

一輝 ちよっと! え!???

あたる 立候補???

翔平 一輝い! 積極的じゃーん!

一輝 違う違う! やりません! 俺、やりません!

キラ (一輝の両手をグイグイっと持ち上げる)。

あたる 言葉と動きが合っていないよっ。

一輝 (キラに) やめろ...!

友美 主役は、マネージャーにやっていただきましようか?

あたる 俺え!?! なんてえ!?!

友美 キャリア的に、ここは私たちの上司が!

翔平 よっ! 主役!!

あたる 俺が... 主役...!!

友美 はい!

あたる ……そこまで言うなら(まんざらでもない感じ)。

翔平 決定——!!(拍手)

友美 あとは、ヒロインですね。

キラ (一輝の手を持ち上げて)はい。

一輝 (キラに)やらないよー!!

望 ヒロインは、友美さんしかいいんじゃないですかね。

友美 私???

翔平 歌もめっちゃくちやウマいし!満場一致でしょ!

友美 いや、私、やらないから!歌わないから!

あたる (友美にひざまづいて良い声で)どうぞ、よろしくお願いします、

友美 (あたるからを叩いて拒否)!!

あたる OH…。

妙子、やってきました。

妙子 ヒロインは私がやるわ。

一同 ええええ…?

妙子 なによ?文句ある???

あたる ……(微妙な表情)。

妙子 (あたるの表情を見て)なに表情くもってんのよ。

あたる いや、別に…。

妙子 友美ちゃんは、歌の指導とか、みんなのサポートに。
それならやれる??

友美 はい、がんばりますっ。

一輝 え？友美さん、出ないんですか？？

妙子 そう。

翔平 なんで！？元々、ステージで歌ってたんですよー？

妙子 だからよ。

一同 え？？？

あたる …俺のヒロイン…（微妙な表情）。

妙子 （あたるに）嫌そうにすんな！

一輝 とにかく、これで主役とヒロインは決まりですね。

一同、拍手。

あたと妙子、並び。

あたる どうも。どうも。（ニヒニヒ）。

と、そこへ、彩子と虫島がやってくる。

虫島 ちょっと待ったああ！！

一同 え？？？

彩子 主役は、一輝にやってほしいです。

一輝 ええー！？？

あたる んっっ？

彩子 ショーのことは聞いたわ。このストーリーのことも

主役は一輝にやってほしいんです。

これはオーナーからの、いや、私個人の要望。

ちょっと何言ってるんだよ！

私も賛成。

賛成いい！！

まって！主役なんてできないから！

（一輝の両手を持ってバンザイをさせる）。

（キラ）ちょっと、おい。

バンザイしてる！

うれしいんじゃん！

決まりだああ！

虫島

翔平

友美

一輝

キラ

一輝

虫島

妙子

一輝

一同、拍手をして無理やり一輝が主役に。
あたる、曇った表情で沈む。
望、見かねて。

望 （あたるに）主役はまた5年後に…。

あたる ……………。

彩子 あと、ミュージカルの歌は、

私の知り合いの作曲家に作ってもらうことにしたわ。

うわー、さすが！

衣装も知り合いに頼んでおいたわ。

翔平

彩子

あたる

望

彩子

翔平 さすがすぎるっー!!

虫島 よかったな、ありがたく思えよお!

彩子 ムッシーもなんかやりなさい。

虫島 え、あ、はい??

彩子 みんなにお茶でも買ってきなさい。

虫島 お茶?私??

彩子 GO!

虫島 は、はい!(走り去る)

彩子 じゃあみんながんばって、いや、楽しんでねっ!

一同 はい!!

以下、それぞれ正面を向いて。

翔平 ということで配役が決定!

望 主役は一輝さん!ヒロインは妙子さん!

彩子 オーナーの頼もしい人脈のおかげで、

シヨ一の楽曲や衣装の心配もクリア!

あたる クリスマスシヨ一まであと10日!

ハッキリ言って時間は全くない!

翔平 ホテルの業務の合間を縫って、とにかくがんばります!

勢いよく口上をして、ドタバタと練習シーンへ。

—— (ダンスの練習)

一輝 (正面に) ダンスの練習。

ダンスの練習をしている。
掛け声は妙子がしている。

妙子 はい、ワン！ツー！スリー！フォー！

一輝、ぎこちなく踊る。

翔平、元気だけあるが動きが大きくて雑。
あたる、意外といけてる？

望、全くできていない。

妙子、一番踊れている。

妙子 ……！！ (めちゃくちゃ踊れる)

一輝 なんであの人あんな踊れるの!??

—— (歌の練習)

望 (正面に) 歌の練習!

歌の練習。(※ナンバー・歌う部分は検討中)

友美が歌唱指導をする。

翔平、あたる、望、

翔平
~~~~~(と歌う)

あたる  
~~~~~(と歌う)

望
~~~~~(と歌う)

友美  
もっと抑揚をつけて。

声量が足りない。半音スれますよ！(などなど)

続いて主役とヒロインの歌。

一輝  
~~~~~(と歌う)

妙子
~~~~~(と歌う)

友美  
一輝くん、ここは、もっと感情を前にだして。主役だから。

一輝  
~~~~~(と歌う)

友美
もっとよ、もっと！

妙子
~~~~~(と歌う)

友美  
妙子さんは、もっとおわらへ歌いましょー！

妙子  
~~~~~(と歌う)

友美
違いますー！こっちは！

友美、しびれを切らして、一輝と妙子のパートを、
一人でお手本のように完璧に歌い上げる。

友美　　~~~~~(と歌う)

…じつぷ?

一輝　　もう友美さんが出てくださーい!

友美　　私は出ない!

—— (ホテルの業務)

翔平　　(正面に) もちろん、その間も、ホテルの仕事もしっかりやります!

ホテルの業務の様子。

一輝、客Aの対応。

一輝　　いらっしゃいませ。お荷物お持ちいたします。

一輝、荷物を持ち運ぶときに、ダンスのステップを踏んでしまう。

客A　　~~~~~

翔平　　(気づいて) あ、失礼いたしました。

翔平・望、客Bの対応。

翔平は館内の案内を言う。

望は荷物を持つ。

翔平

(館内の案内) お食事は最上階のレストランになります。

大浴場はお2階。深夜1時までご入浴いただけま〜す♪

望

ま〜〜す♪

と、つい歌になってしま〜う。

望、ハモってしま〜う。

客B、困惑する。

客B・

〜〜〜?

あたる、怒り気味の客C・客Dの対応をする。

客C

部屋のバスタオルが1枚しかなかったんですけど(などクレーム)

あたる

(高らかに歌うように) 大変申し訳ございません〜ん♪

客C・客D

は〜?

あたる (慌てて) あっ、いや、失礼いたしました〜♪(また歌に)。あっ!

あたる、慌てる。

—— (衣装合わせ)

友美 (正面に) ショーの衣装合わせです。

一輝、あたる、妙子、友美

彩子と虫島がやってくる。

虫島、段ボールを載せた台車を押しながら。

彩子 衣装が届いたわよー!

一輝 やった! どんな衣装だろ!

あたる 気合い入るなー。

などなど。

中から、大魔王のような謎の衣装が出てくる。(これは見えてOK)

一輝 ちょっとまって。え、この衣装、なに???

彩子 あ、それ? ムツシーの衣装。

一同 え???

虫島 (全く聞いてない) ええー???

あたる 支配人もショーに出られるんですか?

彩子 当前よ。

虫島

(彩子にかけよって) いやいや、ちょっとまってください、私は、そんなミュージカルとかは。(あたふた)

ホテル業務を終えた、翔平と望がやってきて。

望

お疲れ様ですー。

翔平

喉乾いたあ。

彩子

(虫島に) お茶いれて!

虫島

は、はいー!!

すっかりパシリの虫島。

一輝にピンスポットが当たる。

一輝

(正面に) 気づけばショーの本番3日前だ。

おかしい…。おかしいぞ…!

なんで俺…、こんながんばっちゃってるの…!?

キラが現れて。

キラ

(一輝に) 驚いたあ。意外としっかりやってるじゃん、主役さんっ。

一輝

だ、だって、もうやるしかねーだろ、ここまできたら…。

キラ 僕はすっごくうれしいんだよ。

一輝が、このショーの、このストーリーの、主役をやる。
うれしいねー。(笑う)

一輝 ……。あのさ。聞いていい？…キラってさ――

一輝、キラにある疑問を聞くようにする。
と、翔平の声。

翔平 (遠くから) おーい！練習やるぞー！

一輝 (翔平に) お、おう。

キラ じゃ、がんばってっ！

キラ、去る。

一輝 あ……。

(正面に) なんで俺…こんながんばっちゃてるの…？…？
自分でも、よくわからない。わからない。けど…。
もしかしたら…。そうだとしたら…。

と、とにかく！もうやるしかない！ラストスパート！

歌に、踊りに、練習を積み重ねる様子。

クリスマスの装飾も飾られていく。

ドタバタとショーが完成していく。

【 第8場 それぞれのバックボーン 】

クリスマスが近づいてくる。

シヨ一の練習を終えた、一輝、椅子に座って一息つく。

一輝 ……。(疲れている様子)

と、翔平、やってきて。

翔平 お疲れー。主役さんっ。

一輝 …お疲れ。

翔平 いやー、まさかまさか、一輝がこんなに一生懸命になるとはな。

一輝 ……だって、やるしかねーじゃん…。

望、やってくる。手にはタオル。

望 お疲れさまですっ。

これ、よかったら、タオル。(一輝・翔平にタオルを渡す)

気が利くじゃん。

運動部のマナーシヤーカーだよ。

望 後輩なんで。(笑)

一輝・翔平、「疲れたー」とタオルで汗をふく。
以下、3人で会話。

望 ……初めてです。僕、こういうの。

一輝 こういうのって？

望 ……こう、なんていうか、みんなでがんばろうーみたいな。

翔平 学校の文化祭とかは？あったでしょ？

望 ありましたけど。僕は、いつもそついうとき、「その他大勢」っていうか。そんな感じで…。

翔平 ふーん。

望 昔っからそうなんです。

どこにいても、周りのみんなと、上手に、馴染めないっていうか…。

…あ、ちょっと暗い話になっちゃいましたね。

(強引に話題を変えて)

あっ！この間、調べたら、僕、前世テナガエビらしくて——(など)

(さなぎって) いやいや、無理に楽しい話に変えなくていいから！

前世テナガエビもちょっと気になるけど。

もっと聞かせてよ、その、望の話！嫌じゃなければ！

…とにかく、僕、人と話すのが、あんまり得意じゃないんですよね…。

なのに？ベルボーイに??

いや、「だから」ベルボーイに。か。

一輝

翔平

望

翔平

一輝

翔平

望

翔平

望

翔平

望

一輝

望

望 そうーそうなんです！そんな自分を変えたくて、この仕事に！

…でも…、やっぱり難しいですね…。

お客様の前だと、今でも緊張するし、ミスも多いし…。

また暗い話になってますね（明るく）テナガエビの頃はきつと――

テナガエビいいから！

でもさでもさっ。望、最近、良い感じじゃない？

前よりも、堂々としてるっていうか。なあ！

うん、声も出てるよな。

ほんとですか？？

（翔平に）最初入ったときなんか、ほんと、声も小さくて。

いっつもアタフタしててな！

…僕、思うんです！

今回のクリスマスショーで、少し、なんか、変わるんじゃないかって。

だから、その、あの…！（大声で）本番もがんばりまあす！！！！

声でかっ。（笑）

いいぞー！！（拍手）

あっ、話は変わるんですけど。

テナガエビ？

それじゃなくてっ。

一輝さんって、このホテル、やめるんですか？？

それさ、結構前からもうずーっと言ってるんだよ、コイツ。

けど、なんだかんだ、働いてんの。やめるやめる詐欺だよ。（笑）

（ムキになって）やめるから！

一輝

翔平

望

翔平

望

翔平

一輝

望

翔平

一輝

望

一輝

翔平

一輝

翔平 やめねーじゃん。年中閉店セールしてる商店街のお店と同じじゃん。
一輝 ちげーよ！ほんとにやめるよ！
翔平 絶対に！いやーきつと！いやーおそろくっ！？
望 ちよっとずつ自信なくなってるじゃんっ。
翔平 え、じゃあ、なにか別の仕事するんですか？
一輝 そ、それは。
望 とくにやりたいことは無いみただせ。
翔平 でしたらやめなくても。
一輝 やめたいからやめるの！それじゃダメなのかよ？
翔平 やりたいこと？ないよ！なんもねーよ！悪かったな。
一輝 一輝、俺もだよっ。
翔平 ん、えっ？？
一輝 俺も無い！やりたいこと、無いっ！（明るく）
翔平 夢？見つからなーい。将来？知らなーい。
望 自分がどうなりたいのか、なーんにも決まってるない！（明るく）
一輝 ……嘘つけ。
翔平 マジマジ！だから、一輝と一緒っ！
一輝 ……一緒…なのか？？
望 あんまりそんな風に見えないんですけど。

翔平

結構みーんな一緒じゃない？

でっかい夢もってたり、将来のこと考えてたり。

自信もってやりたいことやったり。

そんなヤツの方が圧倒的に少ないと思っぜ？

普通だよ。俺達は！普通！

望

普通…。

一輝

普通…。

翔平

だから。そんなに焦らなくなたっていいんじゃない？

一輝

…別に焦ってねえよ。

翔平

もっと力抜いてさ、毎日エンジョイしないと疲れるぜ？

エブリデイエンジョークーイ！

一輝

(翔平に) お前は少し焦ろ。

翔平

やだ！焦らない！若いんだから！焦らなくてもいい！

…でも、一輝は俺より歳上だからなあ。

ちよっとだけ焦ってもいいかもね。

一輝

おいっ。

望

え！？？まっってください、え、歳上って！？え？？

翔平

あ、一輝、俺の1個上。

望

知らなかった…！

一輝

何回も言ってるけど、歳上を敬え！

翔平

何回も言ってるけど、先輩さんを敬ええ！

一輝

こっちは人生の先輩だから！

翔平

このホテルでは俺が完全に先輩だから！

友美、妙子、近づき。

妙子 はいはい、罵り合ってるどころ、ごめん遊ばせー。

一同 ????

妙子 ……(友美の背中を叩く)。

友美 ……あのー…、私も歌っていいかな？

一同 え???

一輝 ……歌いたくないって。(言ってみましたよね)

友美 ……知ってる通り、ここで働く前は、お店で、お客さんの前で歌ってて、

できればずーっと歌いたかった…。でも、諦めて…。

人前で歌うのはもうしない！って、意地になってたのね。

でも……。

(表情が晴れて)歌いたくなっちゃった。(笑)

だって、どう考えたってやっぱり楽しいんだもん！

歌わなきゃ、損だなんて。

望 ……友美さん。

友美 ……私、歌っても——(言いかけて)

翔平 オークーオークー!!!

そんなの食い気味にオークーですよ！なあ！食い気味に！

逆に反対する人います？

望 僕、うれしいです！

友美 ……ありがと！みんな！

妙子 (仕切る) ということで、シヨ一の配役を変更します！

一輝 え???

妙子 シヨ一のヒロインは、私に代わって、友美ちゃんにやってもらいます！

一輝 友美さんがヒロイン???

妙子 本番直前での変更だけど、この子なら余裕で間に合うでしょ。

ま、そりゃあ、ここまでヒロインの準備してきた私にとっては、

ちょっと寂しいけど、みんな、それでもいいかしら??(と言いかけて)

一輝・翔平・望 (食い気味に) オーケー！

妙子 食い気味い！なんか寂しいー！

と、友美の参加によって、また盛り上がる一同。

【 第9場 彩子と一輝と 】

深夜。彩子が一人たたずむ。

彩子
……………。

キラ、ひょっこり現れて、彩子を見る。

虫島、汗を拭きながらやってくる。

虫島
あら、まだいらっしやっただんですか？

彩子
なに？オーナーが深夜までホテルにいたらダメなの？

虫島
いえいえ、そんなことはございません。

彩子
…やっぱり、クリスマスが近づくと、色んなこと思い出しちゃって。
センチメンタル？みたいな？

虫島
…いま練習してる、シヨのお話の内容が、もう、そうですからねー。

それは、おセンチに、なっちゃいますよねー。

…しかし、なんでまた、一輝くんがこのストーリーを。

話したこと無いって言ってましたよね？

彩子
そうなのよ、そこがよくわかんなくてね。

私、一輝にこのこと話したことないはずなのよ。

なんで知ってるのよ…。どっかで話したのかなあ…？

キラ、「僕が教えたんだよ」みたいに、自分に指をさす。

虫島

…私ね、一緒にショーの練習してるじゃないですか？

「輝くんがね、その、主役をやってる姿を見てると…」

重なるんですよねー。やっぱりー。親子ですからねー。

(涙が出てきて)

見てると…なんか…もう…泣きそうになるんですよお。

(思いつきり泣いてる)。

彩子

もう泣いてるじゃない。

虫島

危うく泣きそうになるんですう、危うくう(思いつきり泣いてる)

彩子

だからもう泣いてるじゃない、思いつきり。

虫島

エモいだろお…エモすぎるだろお。(泣いてる)

彩子

え、エモい??そんな若い言葉使わないでちょーだい。

虫島

エモくないですかぁ!?(泣いてる)

彩子

(虫島の勢いに押され)う、うん、エモいエモい、私も、すっごいエモいよ。

虫島

男・虫島!この、エモエモクリスマスショーを!

必ず成功させてみせます!

彩子

う、うん、ありがとうっ、よろしくねっ。

虫島

きつと、当日は、どいかに見てくれるはずですよ。

彩子

…ニッコニコの。いつものあの笑顔で。

彩子

…そっねっ。

キラ、笑顔を見せる。

一輝がやってくる。

一輝 (虫島に) お疲れ様です。

虫島 (一輝を見てまた泣けてきて) はっ……ううう……！

(一輝に指をさして) エモい……エモいぞぉ……！

一輝 え……？

虫島、駆け足で去る。

一輝と彩子の2人きりに。(隅にはキラもいるが)

一輝 ……なに?? (彩子に) なんかあったの??

彩子 クリスマスだからねー。

一輝 ……え、ちょっと意味わかんない。

彩子 こんな時間まで何してたのよ。退勤時間はとっくに過ぎてるでしょ。

一輝 ……自主練だよ。歌の。友美さんに見てもらって。

彩子 へー、一輝が居残りで自主練。

退勤時間は守るっていうポリシーはどうしたのかしら。

…いいだろ別に。

一輝 ……。ねえ一輝。

彩子 クリスマスショーのストーリー。

あれ、一輝が、考えたんだよね?

…俺が考えた、ていうか…。人から聞いたんだ。

彩子 え?? 誰から聞いたの??

一輝 ……さあ。誰なのかな！

彩子 ちょっと教えなさいよ、誰から聞いたのよー？

一輝 いいだろ別に。

彩子 誰から聞いたの???

一輝 あのさ。どんな人だったの???

彩子 ……ん？なに???

一輝 俺の……。(父親)

彩子 ……話していいの???

子供のころは、あんまり話してほしくないって感じだったじゃん。

それは……。たぶんだけど…、聞くとさ、会いたくなるじゃん。

会いたくなったら、寂しくなるじゃん、子供だから。

だから、あんまり聞こうとしなかった。うん。

……とにかく優しくして。笑顔がステキな人でね。

なんていうかな…。

「そこにいるだけで、私を幸せな気持ちにさせてくれる」
みたいな、そんな人。

キラがすっと現れる。一輝は気づいていない。

一輝 そこにいるだけで…幸せ…。

彩子 ……そう。

一輝 じゃあ……。母さんは、もう随分と。幸せじゃないの??

…(その人が)いないから。

彩子

……。

一輝

…だって、俺が生まれてすぐだよ。

彩子

…そうよ？

世界で一番不幸だなんて、そのときは思ったよ？そのときはね。でも、それから、気づいたの。

「そこにいるだけで幸せな気持ちにさせてくれる」

そういう存在が、他にもいるって気づいたの。

一輝

他にも…？

彩子

うん。

一輝

…え、それ誰…？

彩子

答えるの？だいぶ照れくさいんだけど(笑)。

一輝

あ、じゃあいい、言わなくて、察した、察した。

俺もめっちゃくちや照れくさいわ。

彩子

…うん、ま、そう、そういうこと！

だから一輝。将来のこととか、私もいちいちうるわい言っちゃっけど。結局ね。いるだけでいいのよ。

元気で、いるだけで。私は、結構、それで十分。

一輝

……。

彩子

さ、帰ろう帰ろう、帰るわよー！

と、言いながら彩子は去る。

一輝、キラに気づいて。

キラ … (ニクニクしている)

一輝 ……キラは…、なんなの???

キラ ……幸せを運ぶ、座敷童子。的なやつ。だよ。

一輝 ……誰??

キラ …… (笑う)

一輝 ……誰??

キラ そろそろ、消えるねー。

一輝 え??は???

キラ 僕が、一輝の前から消える。

一輝 なんて???

キラ 見えなくてもよくなったからさ。

例え、姿が見えなくなっても、僕は一輝の近くにいる。

それを、一輝が知ったから。だからもういいんだよ。

ちよっとまってよ、ちよっとまってよ。

クリスマスショー楽しんで。しっかり見てるからね。

まってよ。まってよ、とうさ (父さんと言いつける)

(遮って) 違うよ。僕は、そういうんじゃない。

それらしいこと、なにもしてやれなかったから。そういうんじゃない。

ごめんな。

一輝 ……別に。謝らなくていい。

キラ ……最後に。母さんとは、なるべくでいいから、仲良くやってね。

そして、母さんにとっての「座敷童子的なやつ」でいてね。

俺の代わりさ。

一輝
キヲ
……………
会えてよかった。

キヲ、姿が消える（一輝から見えなくなる）。
以下、一輝の独白（モノローグ）。

一輝
……………会えてよかった…。
正直な話。思い入れみたいなものは、全然無い。
だって、全然知らない人だから。
むしろ、子どものころは恨んだことだってあった。
なんで俺にはお父さんがいないんだよ。
意味わかんねえよ。ふざけんよ。って。
それで、母さんを困らせたりもしたっけ。
だから、思い入れみたいものは、無い。
けど……………。会えてよかった。
いや、なんで会えたのか、そこは、やっぱり意味わかんないし、
理解が追いつかないけど。
…会えてよかった…。そして…。もっと会いたかった…。

一輝、ふとあることを思い出し。

一輝
あ……………。そっか…。
父さんの名前……………アキヲ…。キヲ……………。アキヲ、キヲ…。

(少し笑い)なんだよ、めっちゃくちゃヒント出してきたじゃん。

……これでハッキリした。

クリスマスショーは、父さんと母さんのストーリー。

そして、俺は、父さんの、代わりを。

……わかったよ。わかったよ。

……やるよ！

あらためて気合いが入る一輝。

【 第10場 ショータイム 】

クリスマスショー当日。

ホテルの宿泊客、彩子の仕事関係者。多くの人が集まっているようだ。

ショーが始まるその前に、

オーナー・彩子によるクリスマスソング。

(MO オープニングソング)

●彩子によるソロ歌唱。

●「Silent night (きよしこの夜)」といったような、
クリスマスソングを想定。

※ ショーの出演者は衣装に着替えるなど準備をする。

拍手に包まれる。

彩子による挨拶。

彩子

メリークリスマス。

特別なこの日に、当ホテル・ロイヤルギフトにお越しいただき、ありがとうございます。

そして、今年は、当ホテルにとって、より特別なクリスマスでございます。

5年に1度の、クリスマスショーを、これより皆様にお届けいたします。

この日のために、スタッフ一同、準備をしてみました。

どうか楽しんでいただき、このショーが、

ロイヤルギフトから皆様への、クリスマスギフトになれば幸いです。

以下、彩子によるミュージカルショーの導入。

彩子

舞台は、とある某ホテル。

これは、ちょっとだけ昔の、ほんとにあったのか、なかったのかの、ラブストーリー!!

— (M1 The royal gift)

- 楽し気で明るいオープニングナンバー。
- ショーの出演者全員でホテルの日常を楽し気に表現しながら歌って踊る。

♪ ホテル！

やってくるお客様は様々

おひとり様、おふたり様、ご家族様、団体様

迎えるホテルマンも様々

ベルボーイ、ベルガール、清掃員、マネージャー

巻き起こるサプライズ

溢れるスマイル

ここではステキな出会いがいっぱい

ホテル！

昨日の嫌なこと全部忘れて

ホテル！

今日は心をリフレッシュ

ホテル！

届ける 明日のためのロイヤルギフト

ホテル！
あなたがちょっとブルーでも
ホテル！
わたしはいつも笑ってる
ホテル！
届ける 誰かのためのロイヤルギフト

※ 歌詞は検討中

— (M2 A smile body)

- 主人公（一輝）のソロ曲。
- 少しマイナーな曲調のナンバー。

♪ 僕は新人ベルボーイ

わからないことも多い 新人だから
失敗だってするさ 新人だから
でも笑っていいこう それが僕だから

「 笑顔で仕事をする主人公。」

「 離れたところで、ひそひそ話をする従業員達。」

「 『知ってる？アイツってさ…』など」

♪ (台詞) 『僕には父も母もいません。』

生まれてこの方、会ったことはありません。
みんなとちよっぴり違う環境で育ちました。
でも、僕はこう考えます！』

みんなよりも 僕はユニーク！
みんなよりも 僕はスペシャル！
自分に言い聞かせてスマイル！

さあ、笑っていいこう ユニークだから。
さあ、笑っていいこう スペシャルだから。
さあ、笑っていいこう それが僕だから。

そしたら起こるはず ステキなこと
まっくら起こるはず ステキなこと

「ふと、主人公の前にヒロイン（友美）が現れる。」
「一目合った瞬間に、二人は惹かれ合う。」

♪ ほら 起きたじゃないか ステキなこと

※ 歌詞は検討中

以下、台詞のやりとり。
見つめ合う一輝と友美。

一輝 ……いかなさいましたか??
友美 え???
一輝 なにかお困りでしょうか??
友美 ……いや、別に。
一輝 わよひでいじゃいますか。
なにかお困りでしたら何なりとお申し付けください。

友美 あ の、私、宿泊客じゃなくて。

離れたところから、「いたー!」と、あたると妙子の声。

一輝 ？？？

友美のもとに、あたると妙子が駆け寄る。

あたると お嬢様、ここで何をしてらっしゃるんですか？

妙子 オーナーがお探しでしたよ!

一輝 え？え？

一輝のもとへ翔平と望が駆け寄る。

翔平 おい、なにやってんだよ!

一輝 (翔平に) この方は?

翔平 バカ! お嬢様だよ!

一輝 お嬢様???

望 このホテルのオーナーの、娘さん。

一輝 え…!?

友美 (妙子に) この方は?

妙子 最近入ったベルボーイです。

あたると (一輝に) お嬢様に失礼なことしてないだろうな?

一輝 いえ、そんなことは。

翔平 本当かあ!?

一輝 してないですっ。

妙子 (友美に) さあさあ、いきましよう。

友美 やだ。

一同 え????

友美 (一輝に) …私、困ってるの。

一輝 はい???

友美 さっき、何かお困りでしたよかって言っていましたよね?

一輝 …いえ、それは——(宿泊客と間違えて…)

友美 何なりとお申し付けくださいって言ってましたよね!?

一輝 ですからそれは——

友美 困ってるの!

- ヒロイン（友美）によるソロ曲。
- ソウルフルなナンバー。

♪ あれもダメ これもダメ なにもできない
私はまさしく 箱入り娘 さあ、ここから出して

あれ買って これ買って なんでも手に入った
子供の頃は うれしかった？ んーん、むなしかった

自由になりたい
自由になりたい
そのためなら なにもいらない
自由になりたい
そのためなら なにもいらない

「 あたる・妙子』お嬢様！行きませしゅうー！』と連れていこうとする。
「 友美、それを振り切って。」

♪ 私、決めだから
好きなことを 好きなだけやる
私、決めだから
好きな人を 好きなだけ 好きになる

※ 歌詞は検討中

— M4 A brilliant love —

- 主人公（一輝）とヒロイン（友美）のラブストーリーの歌。
- 周りの従業員なども途中で加わる。

♪

（一輝）愛する人ができた

（友美）愛する人ができた

（一輝）世界が変わった

（友美）世界が変わった

（一輝）さあ、どこへ行くのか？

（友美）どこでもいいわ あなたとなら

じゃあ、なにをしようか？

（一輝）なんでもいいさ 君となら

（妙子）いけません お嬢様！

（あたる）どうみても 不釣り合いです！

（友美）不釣り合い？ たしかに こんなステキな人 私にはもったいない

（あたる・妙子）ノー！（悶絶）

（翔平）やめておけ 二人が一緒になるなんて ありえない！

（望）ありえない！

(一輝) ありえない？ たしかに こんなステキな恋 奇跡としかいえない
(翔平・望) ノー！ (悶絶)

(一輝・友美) 愛する人ができた たったそれだけで 世界が変わった
愛する人がいる たったそれだけで 幸せになれる

※ 歌詞は検討中

翔平、望、あたる、妙子、呆れて去る。

翔平 もっ、どうなっても知らないからな！
望 行く行こっ。

妙子 もう何を言っても無駄なようね。
あたる オーマイガー。

と、言いながら。

一輝、友美、二人きりに。

一輝 …誰もいなくなっちゃったね。

友美 …いいじゃない。そっちの方が楽よ。
一輝 …そうかなー。

クリスマスのBGMが流れている。

友美 …もうじきクリスマスね。

一輝 …なにして過ごそうか？

友美 私は、一緒にいればそれでいい。

と、二人が話しているところ。

邪悪な声(虫島)が聞こえてくる。

虫島 (邪悪な声で)めりいくりすまあすう……!!

二人、「なんだなんだ?」となる。

と、悪魔のような姿の虫島が現れる。

頭には、サンタの帽子をかぶっている。

周りには手下のような者が4人(トナカイの帽子をかぶる?)

虫島 (邪悪に)めりいくりすまあすう……!!

一輝 (驚いて)ええ!?!?!、サンタ!?!?!じゃない!!

友美 お、お父さん……!!

一輝 お父さん??ええ!??

ということとは、このホテルのオーナー!???

虫島 お二人さん、随分楽しそうにお付き合いらしているじゃないか…。

だがしかし…この恋愛…ダメええええ…!!

一輝・友美 ……!!

虫島 娘よ。この恋愛、お父さんは絶対に認めないからなあ!

なぜって??教えてやろう。

食らうがいい、私から、クリスマスプレゼントだああ!

一輝・友美 ????

虫島 その1。世間体が悪い!!

と言うと、手下Aが「セクンティィ…!」と言いながら一輝に攻撃。

虫島 その2。まだ若すぎる!!

と言うと、手下Bが「ワカイィ…!」と言いながら友美に攻撃。

虫島 その3。オーナーの娘に手を出すとか非常識!!

と言うと、手下Cが「ヒジョウシキィ…!」と言いながら一輝に攻撃。

虫島 その4。シンプルにやだあ!!

「と言うと、手下Dが「ヤダァ……!」と言いながら友美に攻撃。

虫島 さあ別れるんだあ…いますぐ別れるんだあ…!

手下4人によって一輝と友美は引き離される。

一輝 …わかりました。

友美 え???

一輝 (友美に) ……さよなら。

友美 さよならって???

一輝 ……お父さんの言ってることは正しい。

虫島 お父さんって言うな。

一輝 ごめんなさい、オーナーの言ってることは正しい。

友美 ……そんな…。

一輝 (友美に) ……さよなら。

友美 (泣き受け入れる) ……。

虫島 フハハハハ…!これにて!一件落——(と言おうとする)

と、そこへ、翔平・望・あたる・妙子の声が聞こえてくる。

4人 (声) ちょっとまったあー!

虫島 ん???なんだあ???

4人、颯爽と現れて、一輝・友美に言葉を投げかける。
以下、盛大にかっこつけて。

翔平 おいおい、お前たちの愛って、そんなもんだったのかい？

望 やれやれだぜ。

妙子 もっと強い愛で二人は繋がってると思ったけど、私の勘違いだったのかしら。

あたる こんな理不尽な別れ方、素直に受け入れちまうなんて、

らしくねーじゃん。

望 ここにいるみんな、なんだかんだ、二人のこと応援してたんだあぜっ。

一輝・友美 みんな……。

一輝 で、でも、だって、僕のこと……。

翔平 ばっきやろう！

俺達はお前のこと嫌ってたわけじゃない。

いつも笑顔で、誰にでも優しく、そんなお前が、

スグえなって、うらやましくて、嫉妬してただけさ。

一輝 ……。

あたる 世間体とか、まだ若いとか、そういうの、

二人なら乗り換えられるさっ。

妙子 負けちゃダメよ、撃ち返しなさい、ラブパワーでっっ。

一輝・友美 ラブパワー……。

一輝・友美、目を合わせてうなずく。

二人、近づく。そして向かい合って両手をしなへ。

虫島 おい、近づくな。離れろ。

おいー手をつなぐな！離れろー！！

一輝・友美、両手をつないだまま、スキップをしてその場でクルクル回る。すると、二人を中心に、眩しいの光と、キラキラ〜という音が鳴り響く。これが「ラブパワー」なのか。
と、手下の4人に異変が。

手下達 ……？…？…？…？

手下の4人の身体が、ラブパワーによってコントロールがきかなくなる。

虫島 どうした？？いまどういう状況？？サッパリわからん！

謎の状況に戸惑う虫島。

一輝と友美、スキップをしながら。

一輝 愛があればどんなことも乗り越えていける！

友美 それが！

二人 ラブパワーあー！！！！

と、二人がいうと、周りをつつむ光と音は大きくなる。

そして、手下4人が、完全にコントロールを失い、
虫島にむかって走っていき、攻撃する。

虫島
ギャあぁー……！

打ちのめされた虫島、二人の愛の力にとうとう屈して。

虫島
……どうやら、二人の愛はホンモノのようだな。
……許すぞ……。許す……！！

「やったー！」と、盛り上がる一同。
虫島、笑顔で二人に拍手をする。

一輝
（友美に）……さっきは、さよならなんて言って、ごめん。
もう、一生『さよなら』なんて言わない。
一輝
一生？それじゃダメ。「例え死んでも」よ。
……約束しよう。

一同、拍手。

● オープニングナンバーをラストにもう一度。
(シヨトverの可能性も)

♪ ホテル！

やってくるお客様は様々

おひとり様、おふたり様、ご家族様、団体様

迎えるホテルマンも様々

ベルボーイ、ベルガール、清掃員、マネージャー

巻き起こるサプライズ

溢れるスマイル

ここではステキな出合いがいっぱい

ホテル！

昨日の嫌なこと全部忘れて

ホテル！

今日は心をリフレッシュ

ホテル！

届ける 明日のためのロイヤルギフト

ホテル！

あなたがちょっとブルーでも
ホテル！
わたしはいつも笑ってる
ホテル！
届ける 誰かのためのロイヤルギフト

※ 歌詞は検討中

ショーを終えて、出演者全員が並び。
最後にオーナーである彩子の挨拶。

彩子
いかがでしたでしょうか。

とある某ホテルの、ほんとにあったのか、なかったのかの、
ラブストーリーでした。
多少、表現が誇張されている箇所もございましたが、

今回のショーは、ミュージカル仕立てで、お送りいたしました。

……実は、お話には、どうやら後日談があるみたいですね。

この後、二人は結婚します。

そして、一人の子供を授かりました。

わたしの、世界でたったの一つの、輝く、宝ものです。

一輝にスポットが当たる。

それから暗転。

終わり

【 第E×場 レビュー 】

本編はここで終了。

カーテンコールを兼ねた「レビュー」を行う。
歌うナンバーは、クリスマスソングをみんなで歌う。

【MEMO】